



発行所 三崎港報社
 三浦市三崎4丁目11番5号
 郵便番号 238-0243
 電話(888)5245番(代表)
 掲載料1ヶ月1800円(1部70円)
 郵送1ヶ月3500円(前納)
 営業広告1段1センチによる
 特別広告 別規定による
 (広告料はすべて前納)

盛大に第1回海洋教育の集い

各校の特色キラリ

来賓や保護者も熱心に耳傾ける

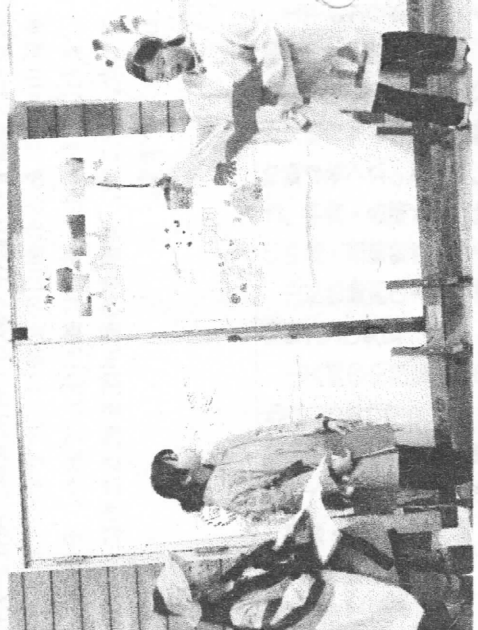
市内小中学校が取り組んでいる海洋教育の成果を発表し合う第1回海洋教育の集いが24日岬陽小学校体育館で開かれた。各校の特色が前面に打ち出され、海洋教育の間口の広さを印象付けた集いだった。発表した児童生徒は約100人で、会場を埋めた来賓や保護者も熱心に耳を傾けた。集いは一般社団法人み

ら学・海洋教育研究所が主催し、三浦市教育委員会などが後援。東大三崎臨海実験所、同大学アライアンス海洋教育促進研究会、NPO法人小網代パール海洋隊、観音崎自然博物館などが協力し、公益財団法人日本財団が助成した。集いに参加したのは三崎、岬陽、名向、南下浦、上宮田、旭、剣崎、初声各小学

校と初声中学校。ステージ発表は初声小学校と旭小学校で、それぞれ約20分間海洋教育の取り組みを紹介した。初声小学校は近くの矢作海岸で採取したエビやカニなどの詳細な観察記録などを、一方、旭小学校は力々の養殖体験や校内で飼育している『学校水族館』

で飼育した生き物の変化などをレポートした。さらにポスターセッションは前半が三崎、南下浦、名向各校、後半が上宮田、剣崎、岬陽各校。また、初声中学校がポスターセッションを行った。児童や生徒は決められた時間の中で取り組みの成果を発表し、質問にも丁寧に答えていた。

集いを締めくくった東大海洋アライアンス海洋教育促進研究会の主任教授、日置光久氏は「ステージ発表もポスターセッションもそれぞれの良さがうまく表現されていた。楽しさや驚き、自分の気持ちを発表すればもっと良かった。頭の中で感じ、体で感じることが大切。自分たちが調べ、



海の環境問題を訴えた上宮田小学校の児童

会期は3月22日まで

3月 市議会 各派・議運で議事日程協議

三浦市議会は26日開いた各会派代表者会議と議会運営委員会(神田眞弓委員長)で3月1日招集される第1回定例会の日程を協議し、22日までとすることを確認した。通常の議事審議のほか平成30年度三浦市9会計予算案を審議する予算審査特別委員会が設置される。日程は1日吉田英男市長の施政方針、2日、5日、

6日一般質問。7日総務経済常任委員会、8日都市厚生常任委員会、12日から16日予算審査特別委員会、19日議会災害対応検討会、22日最終本会議。3日、4日、10日、11日、17日、18日休会。予備日は9日と20日。一般質問は2日4人、5日3人、6日3人の計10人。発言順は共産党→自民党→無所属→みちろ市政会。ま

た、公明党・藤田昇議員が病氣療養中のため今議会を欠席する可能性が高いことから、従来、公明党に割り振られていた予算審査特別委員のポストを他の会派に充てることは見送られた。このため、同委員会の構成はみちろ市政会3、共産党2、自民党1、無所属1となった。

3月22日三浦RC創立55周年例会
 夕向小児童がゲスト
 三浦ロケ
 考え、発表す
 にながら悩
 など取り組
 賛した。最初
 した初声小学
 は「緊張した
 く発表できた
 した表情を
 各校の研究
 次の通り。
 ◎三崎小学
 のそいてま
 ◎岬陽小学
 ひみこ」
 ◎名向小学
 森」
 ◎南下浦小
 真で回る三浦
 ◎上宮田小
 ぞつなぐ海を
 環境問題につ
 ◎旭小学校
 ◎剣崎小学
 気プロジェクト
 がつなげる海
 ◎初声小学
 せにならう(倉
 ◎初声中学
 ちが学んだ
 の海の生物種